令和４年度　指定管理者モニタリングレポート
目　次

１．美馬市都市公園(新町公園・多目的体育館・温水利用型運動施設)

２．美馬市美馬リバーサイドパーク（旧：美馬市吉野川河畔ふれあい広場）

３．美馬市脇町西部デイサービスセンター

４．美馬市美馬デイサービスセンター

５．美馬市穴吹高齢者生活福祉センター

６．美馬市木屋平高齢者生活福祉センター

７．美馬市脇町高齢者生活福祉センター（おちあい荘）

８．夏子農林水産物直売・食材供給施設

９．重清北交流促進簡易宿泊施設

10．美馬市道の駅地域振興施設（美馬市道の駅「みまの里」）

11．美馬市地域交流センター（ミライズ）

12．脇町劇場

13．吉田家住宅

14．美馬市伝統工芸体験館　美来工房

15．美馬市観光交流センター

16．美村総合交流促進施設（美村地域農産物等活用型総合交流促進施設）

17．穴吹交流宿泊施設・穴吹貸別荘施設（ブルーヴィラあなぶき・コテージ清流の郷）

18．美馬市森林空間活用施設（リバーサイドしでの家）

19．水辺の楽校中鳥川公園

20．木屋平特産物販売センター

21．中尾山高原森林総合利用施設・中尾山健康増進施設・中尾山林業者等健康増進施設

22．美馬市交流施設つるぎの湯大桜

23．美馬市テレワーク促進施設

24．美馬市木屋平買物支援センター

令和4年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市都市公園(新町公園・多目的体育館・温水利用型運動施設)
施設所在地	美馬市脇町新町１９６番地（代表地番）
指定管理者名	公益社団法人 美馬市シルバー人材センター
評価期間	令和4年４月１日～令和5年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日～令和６年３月３１日
所管課	教育委員会事務局　地域学習推進課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		業務概要は、都市公園内施設の指定管理業務。 年間利用者数は、８６，８０６人である。 令和3年度の大規模改修工事以降、コロナ禍からの回復もあり、徐々に利用者が増加してきた。 職員配置については、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。利用料金については、月次報告書により適正に徴収されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		広く利用者の声を聞き、改善計画や修繕などを行っている。 また、ホームページ等を通じて情報発信も定期的に行い、施設の利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 計画的な修善を図り、利用者の安全性、利便性を向上させるよう取り組みを行うなど創意工夫が見られる。
総合評価	B	利用者数は、回復傾向にあるため、引き続き、適正な管理を行う必要がある。令和4年4月には、温水利用型運動施設において、基準量を超えるレジオネラ菌が検出されたことから、それ以降、循環設備などを適切に管理し、再発防止に努めている。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

建物としての老朽化対策は、緊急性の高い箇所については、令和３年度に行ったものの、ボイラーや空調など設備においては、改善されていないため、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。また、利用者のニーズに応じたスポーツ施設器具の設置など、地域の健康づくりの拠点となる施設として効果的な改修を図る必要がある。

令和4年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市美馬リバーサイドパーク（旧：美馬市吉野川河畔ふれあい広場）
施設所在地	美馬市美馬町字境目４４番地１地先から同市同町字境目３９番地６地先まで
指定管理者名	ＡＭＥＭＢＯ
評価期間	令和４年４月１日～令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日～令和６年３月３１日
所管課	教育委員会事務局　地域学習推進課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		業務概要は、施設の管理運営に係る指定管理業務。 年間利用者数は、３８，９１３人である。 業務内容については、月次報告書により適正に行われていることが確認できた。 また、野球場、パークゴルフ場、サッカー場などの予約、除草等の施設管理など適切に行われている。
②サービスの質、独自採算事業		時期に応じて、ホームページ等で情報を発信し、川遊びを中心にカヌー、カヤックなどアウトドアスポーツを展開し、多くの人々に吉野川、美馬市の思い出を提供している。また、利用者からの急な依頼についても迅速な対応が行われている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 継続事業である川遊びについては、内容を充実させるなど創意工夫が見られる。
総合評価	A	コロナウイルスが落ち着いてきたことに伴い、利用者は、増加傾向にあった。特に、パークゴルフやランニング愛好者による個人利用の増加があり、コロナ禍前へ回復しつつある。令和4年度は、上半期に竹林伐採、下半期にトイレを新設したが、工事期間中の安全対策が十分行われていた。業務においては、概ね協定書等の内容どおり適正な管理が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

グラウンド整備や除草作業が広範囲に及んでいるので、少人数での対応は難しいため、スポーツトラクラー等の大型機械を計画的かつ最大限に利用することが求められる。また、吉野川に隣接した施設であり、自然とも向き合うこととなるため、河川増水時等においては早急な対応が求められることもあり、施設管理については、十分に注意する必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市脇町西部デイサービスセンター
施設所在地	美馬市脇町字小星６７２番地２
指定管理者名	社会福祉法人　徳島県身体障害者連合会
評価期間	令和　４年　４月　１日～令和　５年　３月　３１日
指定期間	令和　４年　４月　１日～令和　７年　３月　３１日
所管課	保険福祉部　長寿・障がい福祉課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業を実施している。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、月次報告書や事業報告書、領収書等により適正に徴収されている。 また、業務遂行に関係する職員研修にも計画的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		運営推進会議を年２回開催し、新型コロナウイルス感染症の影響のため、家族代表者、民生委員、行政担当者等に資料を送付する形態で、サービスの提供内容の報告・評価等を行い、利用者へのサービス向上につなげている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された事業計画書に基づき、効果的に実施できている。 利用者の重度化・高齢化や認知症高齢者の利用状況、人員配置等常に意識しサービスに見合った加算の継続や質の高いサービス提供に努めている。
総合評価	B	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等によって施設利用者延人数も約２％減少し、収入も約３％減少した。支出については人件費を減らすなどのコスト削減が行われており、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設や送迎車両の老朽化が顕著になっているので、指定管理者と連携をとり計画的に修繕を行っていく必要がある。
新規利用者の獲得のため、関係機関との連携を強化し、地域や利用者の要望に沿った形で利用していただける事業の推進に努めるなど、さらなる施設の利用促進に向けた取組が必要である。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市美馬デイサービスセンター
施設所在地	美馬市美馬町字谷尻６２番地
指定管理者名	社会福祉法人　美馬市社会福祉協議会
評価期間	令和　４年　４月　１日～令和　５年　３月　３１日
指定期間	令和　４年　４月　１日～令和　７年　３月　３１日
所管課	保険福祉部　長寿・障がい福祉課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、配食サービスを実施している。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、現金入金簿や引落明細書により適正に徴収・管理されている。 また、業務遂行に関係する職員研修にも計画的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		朝のバイタルチェックが終わり、利用者が入浴される前に全職員と利用者とでラジオ体操を継続して行っている。 集団・個別レクリエーションを充実させ、新しいメニュー作りにも計画的に取り組んでいる。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された事業計画書に基づき、効果的に実施できている。 要介護認定者については、看護師が２人体制で個々の身体状況に合わせて筋力向上を目的とした機能訓練を積極的に行い、過度な介護や支援をするのではなく、利用者の様子を随時観察し安全面を考慮しながら、必要に応じた介助や支援に取り組んでいる。
総合評価	B	概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われているが、前年度と比較すると収支が悪化し、赤字決算となっている。 コロナ感染症が蔓延したことで、利用者が数名感染したり、濃厚接触者となった利用者もいたため、利用休止になる等の減収は当年度も収入に大きな影響を与えたが、今後は予防対策を徹底しながら、利用者増に繋げて頂きたい。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著になっているので、指定管理者と連携をとり計画的に修繕を行っていく必要がある。
収入が伸び悩んでいるため、収入増に向け、事業所や地域への広報活動で積極的にアピールするなど、さらなる利用促進に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市穴吹高齢者生活福祉センター
施設所在地	美馬市穴吹町口山字田方１１０番地２
指定管理者名	社会福祉法人　美馬市社会福祉協議会
評価期間	令和　４年　４月　１日～令和　５年　３月　３１日
指定期間	令和　４年　４月　１日～令和　７年　３月　３１日
所管課	保険福祉部　長寿・障がい福祉課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、配食サービス、支援ハウスを実施している。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、現金入金簿や引落明細書により適正に徴収・管理されている。 また、業務遂行に関係する職員研修にも計画的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		独居の認知症利用者に対しては、お迎え時に居室まで行き、服薬確認、ガスやヒーターの消し忘れの確認、入浴時の衣類の準備、戸締まり等を行い、デイサービスを毎日利用していただく取組を行っている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された事業計画書に基づき、効果的に実施できている。 前年度より職員が１名増員されたことで、今まで以上に充実した対応ができており、利用者の不安軽減や家族の介護負担の軽減を行っている。
総合評価	A	今年度も、通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、配食サービスともに増収となり、また、支援ハウスについても増収となるなど、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化はデイサービス部門、支援ハウスともに顕著になっているので、指定管理者と連携をとり計画的に修繕を行っていく必要がある。
今後更なる利用者の獲得やサービスの質の向上に向けての職員研修や、支援ハウスについては満室に向けての取組が必要である。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市木屋平高齢者生活福祉センター
施設所在地	美馬市木屋平字谷口２５７番地４
指定管理者名	社会福祉法人　美馬市社会福祉協議会
評価期間	令和　４年　４月　１日～令和　５年　３月　３１日
指定期間	令和　４年　４月　１日～令和　７年　３月　３１日
所管課	保険福祉部　長寿・障がい福祉課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、生きがいデイサービス、支援ハウス、配食サービスを実施している。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、現金入金簿や引落明細書により適正に徴収・管理されている。 また、業務遂行に関係する職員研修にも計画的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		体調不良や自己の都合で利用休止が続いている利用者については、近隣の利用者の送迎時等に自宅を訪問し、体調確認の声掛けを行いながらデイサービス利用を促すとともに、利用者との関係性の継続にも努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		施設の利用促進と健康のために、木屋平地域のふれあいいきいきサロンやいきがいデイサービス利用者に対し、お試し券を活用して利用促進を行うことで、利用者増へとつなげている。
総合評価	B	概ね協定書等の内容どおりの管理運営が行われており、前年度と比較し事業所収支については改善したが、赤字決算が続いている。 運営推進会議での意見も参考にしながら、１人でも多くの利用者を獲得できるよう、今後はより効果的に事業を展開し収入増に繋げて頂きたい。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化はデイサービス部門、支援ハウスともに顕著になっているので、指定管理者と連携をとり計画的に修繕を行っていく必要がある。
周知ができていないいきいきサロンのない地域を中心としたデイサービス事業の広報活動や支援ハウスについては、満室に向けてさらなる施設の利用促進に向けた取組が必要である。
そして、経営における赤字解消のための有効な改善策を引き続き検討する必要もある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市脇町高齢者生活福祉センター（おちあい荘）
施設所在地	美馬市脇町字西赤谷２２３２番地１２
指定管理者名	社会福祉法人 美馬市社会福祉協議会
評価期間	令和　４年　４月　１日～令和　５年　３月　３１日
指定期間	令和　４年　４月　１日～令和　７年　３月　３１日
所管課	保険福祉部　長寿・障がい福祉課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、配食サービス、支援ハウス、生きがいデイサービスを実施している。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、現金入金簿や引落明細書により適正に徴収・管理されている。 また、業務遂行に関係する職員研修にも計画的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		独居の認知症利用者に対して、体調確認や服薬管理を行い、日中徘徊するような見守りが必要な利用者は、デイサービスを毎日利用していただくとともに独自配食を週３回行うなど、すぐに来られない県外の家族の困りごとの解消にも努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された事業計画書に基づき、効果的に実施できている。 ８月から看護師１名を雇用したことにより、看護師２名体制となったことで、要介護認定者等に対して以前より一層個々の目的に合った機能訓練を行うことができた。
総合評価	B	概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われているが、前年度と比較すると収支が悪化し、赤字決算となっている。 認知症の方の利用割合が増え、多種多様な個人に対して見守りの必要度が増している状況も有り、今後は、利用者の心身の状況を勘案しつつ、より効果的に事業を展開し収入増に繋げて頂きたい。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化は、デイサービス部門、支援ハウスともに顕著になっているので、指定管理者と連携をとり計画的に修繕を行っていく必要がある。
利用促進に向けては、特に介護予防・総合事業対象者の安定した利用と新規利用者の獲得のための取組や、支援ハウスについてもまだ空き室があるため、満室に向けての取組を検討する必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	夏子農林水産物直売・食材供給施設
施設所在地	美馬市脇町字西俣名２５８５番１１
指定管理者名	夏子いなか市管理運営協議会
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　農林課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		産地直売所として、美馬市で生産される新鮮で安全な農産物・加工品を消費者に供給している。 令和4年度の直売所における農産物等の売上額は、約1,874千円である。
②サービスの質、独自採算事業		接客対応において改善すべき点があるとみられる。 品揃えや会員の増加に向けての努力が必要である。
③サービス提供の継続性・安定性		新型コロナウイルスの影響を受け、直売所利用者、食堂利用者が共に激減したため、食堂は休業している。 健全で安定的な運営を行うためには、運営組織全体の意識改革が必要である。
総合評価	B	開館時間や販売物など、基本協定書に沿った運営ができていない部分があり、改善をする必要がある。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著になっているので、指定管理者と連携を密にし、計画的・効率的な修繕を行い、施設の安全性の維持に取り組む。
利用者に対するアンケート調査などを実施し、利用者のニーズを的確に把握し、誘客活動を行う必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	重清北交流促進簡易宿泊施設
施設所在地	美馬市美馬町字狙ヶ内２６番地３
指定管理者名	山人の里運営委員会
評価期間	令和４年４月１日～令和５年３月３１日
指定期間	令和４年４月１日～令和７年３月３１日
所管課	経済部　農林課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		業務概要は、簡易宿泊所及び農林業体験施設の維持管理と運営業務。 業務内容については、報告書等により適正に行われていることが確認できた。 職員研修は、危機管理研修等に積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		利用者にアンケートを実施するなど利用者ニーズの把握に努め、即時改善できるところは即時対応するなど、利用者の声を吸い上げる取り組みを進めている。 情報発信も定期的に行い、施設の利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		これまで地域ぐるみでのイベントの開催や、小中学校の研修の場として利活用しやすい環境整備を行っており、施設の利用促進に努めるなど創意工夫が見られる。
総合評価	B	ワクチンの普及、外出制限の緩和により新型コロナウイルス感染拡大以前よりは、利用実績は回復のきざしが見られたが、依然として影響は続いている。 業務においては、概ね協定書の内容どおりの業務水準に基づく、維持管理及び効率的な施設管理運営がなされている。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化による修繕を要する箇所が出てきているので、指定管理者と連絡を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市道の駅地域振興施設(美馬市道の駅「みまの里」)
施設所在地	美馬市美馬町字願勝寺７２番地
指定管理者名	株式会社　阿波食
評価期間	令和４年４月１日～令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日～令和５年６月３０日
所管課	経済部　農林課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		産地直売所における令和４年度の利用実績は、レジ通過者を来場者と数えた人数が累計で約１０万人、売上は約1.4億円となり、昨年度から減少しているものの開駅初年度から一定の利用者数を獲得している。 また、交流センターでは、観光情報や伝統技術の発信地として世界農業遺産や美馬和傘をはじめとした地域の伝統・文化資源のPR活動が継続的に行われている。
②サービスの質、独自採算事業		POS情報による消費動向の分析やSNS等を用いたニーズ調査が実施されており、サービス品質の向上と商品力の強化に向けて、登録出荷者への販売指導やスタッフ向けの研修（OJT等）を実施している。 自主事業については、生産者と連携した地域特産品のＰＲイベントが定期的に開催されており、産地直売所等への集客につながっている。
③サービス提供の継続性・安定性		管理運営体制は、概ね事業計画書のとおり整備されている。 産地直売所で安定した売上を獲得しており、自主事業との相乗効果も発揮されているが、施設運営の健全性を高めていくためには、経費の最適化と売上拡大を図る取組が必要である。
総合評価	B	概ね業務水準に基づく適正な維持管理及び効率的な施設運営がなされている。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

コロナ禍の中、施設の利用状況（来場者数・売上）は、減少しつつも比較的安定しているが、施設の持続性を確保していくためには、市と指定管理者が連携した売上増加のためのさらなる取組が不可欠であり、引き続き利用者ニーズに即した売場の創出と出荷者支援が必要である。
また、産地直売所及びフードコートの商品力・訴求力を一層高めていくため、関係者と連携した六次産業化の推進やPR活動を継続して行う必要がある。
令和５年７月からは、指定管理者が変更となるため、管理者との連携を高めていく。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市地域交流センター（ミライズ）
施設所在地	美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1
指定管理者名	あなぶき・TRCグループ
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	平成３０年４月１日　～　令和５年３月３１日
所管課	市民環境部　ふるさと回帰推進課　・　教育委員会事務局　地域学習推進課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		ホール・地域交流スペース（公民館機能）・図書館等を備えた複合施設。 ホール及び地域交流スペース年間利用者は、約40,000人。 図書館の来館者は、約92,300人（うち貸出し利用者は、約22,142人）。 使用料については、月次報告により適正に徴収されていることが確認できた。各種マニュアルも設置できており、職員研修も積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		イベント来場者等施設利用者に対してアンケート調査を行い、利用者の声を拾う取組がなされている。 市広報紙やＳＮＳを活用して情報発信を行い施設の利用促進に努め、ミライズカルチャー講座や木屋平地区等への出張図書館の実施など、美馬市民への生涯学習促進にも貢献している。
③サービス提供の継続性・安定性		ホールは、各種イベントのほか美馬市文化祭や市内小・中学校の音楽会、市内各種団体による発表会や会合などで利用されている。 地域交流スペース（公民館機能）は、市内外を問わず個人や団体、民間事業者などから会合や各種活動の場、定例の教室開催などで利用されている。 図書館についても、おはなし会や将棋サロンなど各種イベントを毎月開催し、幅広い年齢層に図書館に親しんでもらえる工夫を行い利用促進を図っている。
総合評価	A	新型コロナウイルス感染症による規制が緩和されたこともあり利用人数の大幅な上昇が見られた。 また、協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

公民館機能及び図書館機能の利用者数は、前年度より増加しており、コロナの影響で延期していたイベントを開催することもできた。
令和5年度からは、指定管理の体制が変更になることに加え、アフターコロナを見据えた運営について利用実績や利用者の要望等を踏まえ、指定管理者との連携を密にすることで更なる利用促進に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	脇町劇場
施設所在地	美馬市脇町大字猪尻字西分１４０番地１
指定管理者名	穴吹エンタープライズ株式会社
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		有料利用者人数は7,395人。 施設管理等に不備はない。 入場者数は前年度比218%と増加しており、コロナ渦から回復の兆しが見えてきている。
②サービスの質、独自採算事業		利用者との対話を重視し、拾い上げた利用者の声をミライズ職員とも共有できるシステムを構築し的確なニーズの把握を行い、利用者サービスの向上へ繋げている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 コロナ収束後はさらに利用者、売上高ともに増加すると想定している。
総合評価	A	概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

大規模改修から約３０年が経過し施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
今後も隣のミライズでのイベントとともに連携し、より一層の入館者増を目指し、さらなる利用促進に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	吉田家住宅
施設所在地	美馬市脇町大字脇町５２番地、５３番地及び５５番地
指定管理者名	一般社団法人美馬観光ビューロー
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		有料利用者人数は15,475人。売上高は約20,500千円。 施設管理等に不備はない。入場者数は前年度比約110%、売上金額も前年度比約130%となっておりコロナ渦から回復の兆しが見えている。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		施設玄関に利用者アンケートを設置し、利用者の声を拾う取り組みを行っている。 旅行支援による国内旅行客が増えたことにより、昨年度より入場者数が微増したと考えられる。
③サービス提供の継続性・安定性		うだつをいけるなどの主催イベントや、指定管理者の独自イベントにより、今後もうだつの町並みの中心施設としての役割を担う。
総合評価	A	概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

大規模改修から約30年が経過し施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。商品展示の改善及びラインナップの変更により売店収入も増加しており、今後も継続努力が必要である。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市伝統工芸体験館　美来工房
施設所在地	美馬市脇町大字脇町９２番地
指定管理者名	一般社団法人美馬観光ビューロー
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		利用者人数は36,899人。 施設管理等に不備はない。事務所及び集会所の機能と、観光施設を併設している。
②サービスの質、独自採算事業		施設は、独自採算施設ではない。和傘工房部分は、美馬和傘製作集団が製作、見学及び説明を担い、観光案内所機能を指定管理者が担っている。
③サービス提供の継続性・安定性		観光案内所及び和傘の製作見学という機能であることから、安全面を配慮し運営を継続していく。
総合評価	A	本施設は採算施設でなく、利用者数は増減を繰り返している。観光案内、観光施設としての機能は、充足していると考えられる。管理運営としては、概ね協定書等の内容どおり行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

事務所兼案内所、和傘工房部分は平成２９年度に、公衆便所は令和２年度に改修済みであるが、本施設は昭和３６年構造であることから老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市観光交流センター
施設所在地	美馬市脇町大字脇町字突抜町４５番地１
指定管理者名	一般社団法人美馬観光ビューロー
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		利用者人数は22,684人。売上高は約38,000千円。 施設管理等に不備はない。入場者数は前年度比約125%、売上金額は前年度比約１２７%となっており、運営状況は良好であると言える。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		施設玄関に利用者アンケートを設置し、利用者の声を拾う取り組みを行っている。 藍染め体験や地産地消ランチの提供の場としては、指定管理者の努力により外国語対応スタッフもいることから、サービスは良好である。 藍染の受注販売により、売上高は上がっている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 施設の安全面では怪我等の報告はない。
総合評価	A	コロナ渦においても利用客数、売上額ともに前年度より上がっており、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

体験施設、飲食施設であるが独自採算は現状では難しい。しかしながら、うだつの町並みのシンボルである「藍」と美馬市産の農産物のＰＲの場としての需要は高く、売上増加を目指し、市の指導やＰＲが必要である。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美村総合交流促進施設（美村地域農産物等活用型総合交流促進施設）
施設所在地	美馬市脇町字東大谷１８番地ほか
指定管理者名	美村が丘管理運営協議会
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		概要は、宿泊所及び体験施設の維持管理と運営業務。 年間利用者数は882人。 施設管理等に不備はない。 職員研修は危機管理研修等に積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		施設の特性を活かし、利用者との会話からニーズを聞き取り、改善に繋げている。地域ぐるみによるイベントの開催や、ＳＮＳ等を活用し情報発信を定期的に行い、施設の利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		本館、コテージ、食堂ともに客足が戻りつつある。
総合評価	A	概ね適正な運営管理が行われているといえる。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
農業遺産の認定を受け、農業体験や文化体験ができる本施設のＰＲを市と指定管理者、双方により積極的に行い、さらなる利用促進に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	穴吹交流宿泊施設・穴吹貸別荘施設（ブルーヴィラあなぶき・コテージ清流の郷）
施設所在地	美馬市穴吹町口山字丸山１番地 ・ 丸山４７７番地
指定管理者名	株式会社　喜代美山荘
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		売上高は、82,022千円であり、前年度比約１３７%。 入場者数は、前年度比129%。 施設管理等に不備はない。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		宿泊者を対象に利用者アンケートを実施、入浴利用者には聞き取りにより、利用者の声を拾う取り組みを行っている。 インターネットや宿泊予約サイトへの登録など、情報発信や予約の簡略化により、前年度より利用者がアップした。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。
総合評価	A	概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
宿泊者、入浴者の増加のため温泉水の利用の追加、施設負担軽減化のため天水の利用など、指定管理者による自助努力を観光交流課とともに取り組んでいく。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市森林空間活用施設（リバーサイドしでの家）
施設所在地	美馬市穴吹町口山字仕出原７２番地１ほか
指定管理者名	仕出原自治会
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		駐車場利用台数は、1,988台。 施設管理等に不備はない。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		指定管理者が地元の団体であるため、聞き取りにより利用者ニーズの把握に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		指定管理者独自でブルーベリー園やはっさく祭りなどのイベントを開催し、多数の人が参加している。 管理運営については、概ね協定書の内容のとおり適正に行われている。
総合評価	A	概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

建築から２０年近くが経過し施設の老朽化が見られてきており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
自治会の運営によることから難しい面もあるが、夏場の繁忙期以外に利用促進に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	水辺の楽校中鳥川公園
施設所在地	美馬市美馬町字中鳥地先
指定管理者名	特定非営利活動法人　美馬体験交流の会
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		広大な公園施設で24時間開場していることから、利用者人数は把握していない。 草刈り等の維持管理は、概ね適正な管理ができている。
②サービスの質、独自採算事業		指定管理者が地元の団体であるため、聞き取りによる利用者ニーズの把握に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		指定管理者が独自に補助金を申請し、水辺の楽校春祭りやタケノコ掘りなどのイベントを開催し、多数の人が参加している。 管理運営については、概ね協定書のとおり適正に行われている。
総合評価	A	収益性は低い施設ではあるが、維持管理については、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

広大な施設であり、日々の丹念な作業が求められるが、来場者に気分良く過ごしていただくための管理がほぼ行き届いており、概ね適正に維持管理運営ができていると認められる。
今後より一層、市民の憩いの場となるよう利用促進に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	木屋平特産物販売センター
施設所在地	美馬市木屋平字川井２５番地４
指定管理者名	株式会社原田組
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	平成３１年４月１日　～　令和５年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		年間利用者数は５，０３１人である。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、出納帳及び月次報告書により適正に徴収されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		施設玄関に意見箱を設置し、利用者の声を拾う取り組みを進めている。 また、インターネットＨＰを活用した情報発信、法要、行事の受け入れなど利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 法事、法要の受入れを行い、利便性向上、経済効果をあげている。 継続事業については、内容を充実させるなど創意工夫が見られる。
総合評価	A	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数、売上高ともに減少しているものの、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老築化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行い、長寿命化を図る必要がある。
今後より一層のコスト削減を徹底し、さらには地域内を中心に利益率向上に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	中尾山高原森林総合利用施設・中尾山健康増進施設・中尾山林業者等健康増進施設
施設所在地	美馬市木屋平字太合カケ４４５番地１・太合カケ４４５番地５３・太合カケ４４５番地６８
指定管理者名	株式会社大和土建
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和２年４月１日　～　令和５年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		業務概要は、飲食サービス、公衆浴場、宿泊、グラススキー場、体育館のほか遊具などの施設管理。 年間利用者数は、４，３００人である。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されている。 利用料金については、月次報告書により適正に徴収されていることが確認できた。また、広い敷地の維持管理は草刈り等の作業が多いが環境整備に積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業		パンフレットの配布を市内外に行うほか、フェイスブックなどＳＮＳを活用した情報発信も定期的に行い、施設の利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 継続事業については、内容を充実させるなど創意工夫が見られる。
総合評価	A	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、利用者数、利用料金収入ともに前年度を上回っており、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
リピーターが多い施設であるが、今後より一層の新規自主事業を開拓していき、さらなる利用促進に取り組む必要がある。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市交流施設つるぎの湯大桜
施設所在地	美馬市木屋平字川井２７０番地
指定管理者名	株式会社原田組
評価期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日
指定期間	令和２年４月１日　～　令和５年３月３１日
所管課	経済部　観光交流課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		年間利用者数は８，１３４人である。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、出納帳及び月次報告書により適正に徴収されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		施設玄関に意見箱を設置し、利用者の声を拾う取り組みを進めている。 また、インターネットＨＰを活用した情報発信、法要・法事の受入れなど、施設の利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 法事、法要の受け入れを行い、利便性向上、経済効果をあげている。 継続事業については、内容を充実させるなど創意工夫が見られる。
総合評価	A	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、利用者数、利用料金収入ともに前年度を上回っており、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行い、長寿命化を図る必要がある。
今後より一層のコスト削減を徹底し、さらには地域内を中心に利益率向上に取り組む必要がある。

令和4年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市テレワーク促進施設
施設所在地	美馬市脇町大字猪尻字西分１１６番地１(美馬市地域交流センター（ミライズ）内)
指定管理者名	株式会社MIMAチャレンジ
評価期間	令和４年４月１日～令和５年３月３１日
指定期間	令和４年４月１日～令和７年３月３１日
所管課	経済部　企業応援課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		業務概要は、美馬市テレワーク促進施設の管理運営業務。 年間利用人数は、1,996人。 毎月の地域おこし協力隊の活動月報の提出のほか、定期的な施設への訪問や聞き取りにより、職員配置については、適切に配置されていることが確認できた。
②サービスの質、独自採算事業		施設利用者に対しては、利用者アンケートを実施し、利用者の声を拾う取り組みを進めている。指定管理者においては、飛び込み営業や美馬市商工会と連携し、施設のPRを実施。施設内ミーティングルームにて、週１回、幼児英会話教室に利用される等、利用者増、使用料増につながっている。 また、指定管理者は、都市部企業との関わりも深く、独自のネットワークにより、６月以降、コワーキングスペースの利用者数も増加。
③サービス提供の継続性・安定性		提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 また、会員向けイベントとして、竹島塾、100年経営研究会などを48回実施。サービス提供の継続性・安定性が見られる。
総合評価	A	本施設は、令和４年４月オープンの施設で、利用者数も目標人数を上回っており、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

今後一層の利用促進に向けて、指定管理者と連携を密にしていく。

令和４年度　指定管理者モニタリングレポート

１．基本情報

施設名	美馬市木屋平買物支援センター
施設所在地	美馬市木屋平字川井２２４番地（木屋平複合施設内）
指定管理者名	ゆずの里
評価期間	令和４年４月１日～令和５年３月３１日
指定期間	令和３年４月１日～令和６年３月３１日
所管課	市民環境部　くらし・人権課

２．評価結果

項目		評価内容（市コメント）
①業務の履行状況		業務概要は、木屋平複合施設内に開設された買物支援センターの運営管理。 主に日用品等の販売。 令和４年度年間利用者数は、1,855人。 利用状況及び収支状況は、月次報告書により確認できた。 職員配置及び業務執行状況は、面談及び現地調査により確認できた。 複合施設内の規則及び美馬農業協同組合のマニュアルに準じる形で遵守しているので、当該施設用のマニュアルとしては作成していない。
②サービスの質、独自採算事業		接客対応や施設内清掃等は、適切に実施されている。 通常業務以外の事業は、実施されていない。
③サービス提供の継続性・安定性		概ね事業計画書に基づき、利用者へ必要なサービスが提供できているが、センターに常時置ける品数はスペースの都合上、また、日持ちしないものは置けないので限定されている。 そのため、電話での応対による品物受注のほか、診療所受診時に寄ってくれた住民に対しては、品物のカタログを配布することで注文を受け、配達するスタイルを取ることが多くなっている。
総合評価	B	概ね協定書等のとおり、当該施設の管理運営が行われている。

３．その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の維持管理は、概ね適正に行われている。
コロナが落ち着いたこともあり、前年度よりは利用者が増加しており、十分な感染対策をした上で運営している。ただし、センターに常時置ける品数はスペースの都合上、また、日持ちしないものは置けないので限定されている。
そのため電話注文を受けて、配達するスタイルに重点が置かれるようになってきている。
今後は、センター自体も商品の内容を再検討するなど事業継続に向けた改善策の検討が必要。